

# 第八十一回 石油專賣法案特別委員會議事速記録第七號

貴族院 帝國議會

昭和十八年二月二十二日(月曜日)午前十時二十五分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ委員

會ヲ開會致シマス、引續イテ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス、今日ハ大臣ノ御出席ヲ願ツテ置イタノデスケレドモ、今チヨット豫算其ノ他ノ方デ手ガ離セナイト云フヤウナコト

デアリマスケレドモ、成ルベク出席ヲスルヤウニ更ニ求メテ置キマシタデスガ、取敢

ズ質疑ヲ御繼續願ヒタイト思ヒマス

○大橋八郎君 細カイ條文ノコトニ付テ極

ク簡單ナコトヲ二三伺ヒタインデスガ、細カイコトデスカラ説明員カラ御話ヲ承ッタ

モ宜シウゴザイマス、交易營團法ノ二十條デアリマスガ、是ハ法令ニ依リ公務ニ從事

スル職員ト交易營團ノ役員其ノ他ノ職員ヲ看做スト、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデア

リマスガ、此ノ條文ヲ置カレタ趣旨ハドウ云フ意味デアリマセウカ

○政府委員(山口喬君) 二十條ハ結局公務

員ノ性質ヲ營團ノ職員ニ持タセル、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、特ニサウ云フコトニ致シマシタノハ、交易營團ノ業務ガ交易業

務ト、ソレカラ貯藏業務ト、大別シマスト

スウ云フ大ギナツデアリマス、交易業務ノ方ハ戦力増強ト云フ見地カラ申シマシテ、

物動計畫ノ一部分デアリマス輸出入計畫ヲ擔任スル、ソレノ執行機關、責任機關トシテ真

ニ其ノ計畫ノ通リヤツテ行カナケレバナラヌ、サウ云フ性質ノモノデゴザイマス、第二ノ貯藏

業務ノ方デゴザイマスガ、是ハ矢張リ政府

ノ計畫ニ基キマシテ、ソレドヘノ指定ヲ致シマシタ重要物資ヲ貯藏シ、而モ之ヲ有效

配給統制機關ト結ビ附キマシテ、之ヲ最モニ利用スル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、

効率的ニ處分スル、斯ウ云フ風ナ業務デアリマシテ、是モ結局今日最モ要請セラレテ居リマス

居リマスル生産力擴充ト云フ、見地ニ基キマシテ、最モ適正ニ能率良ク業務ヲ運営シテ行カナケレバナラヌコトハ申ス迄モナイノデ

アリマス、斯ウ云フ風ナ趣旨ニ於キマシテ、普通ノ一般ノモノト違ヒマシテ、斯ウ云フ時局下ニ於ケル此ノ種類ノ仕事ニ携ハル者ノ性質ト致シマシテ、特ニ一般ノ者ト違ッタ身分ヲ認メル必要ガアル、斯ウ云フ風ナ趣旨デアリマシテ、此ノ二十條ノ結果、ドウ云フ風ナ點デウ云フ風ナコトガ起ツテ参りマスクト申シマスト、積極的にハ公務員トシテノ所謂職務執行妨害罪、詰リ此ノ職員ノ致シマスル仕事ニ對シマシテ、例ヘバ貯藏ノ關係デ申シマスレバ、狀況ヲ現場ニ行

キマシテ調べマスルトカ、或ハ其ノ他色々ナ請求ヲスル場合ガアリマスガ、サウ云フ場合ニ之ニ應ジナイト云フヤウナ場合ニ職務執行妨害罪ガソコニ成立スル、是ハ積極

ニハアリマセヌガ、唯大體同ジヤウナ關係カモ知レマセヌ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(山口喬君) 現在ノ外ノ營團法ニハアリマセヌガ、唯大體同ジヤウナ關係

ヲ持ツテ居リマス、例ヘバ戰時金融金庫、ソレカラ日本銀行法、今度ノ變リマシタモノ、是等ニアリマスルノデ、其ノ例ニ倣ヒマシ

タ

○大橋八郎君 サウ致シマスト、特ニ營團ノ中デモ事態ノ重イト言ヒマスカ、重要なモノニハ公務員ニスルシングダ、斯ウ云フ御越旨ト考ヘテ宜イ譯デスナ、ソレカラ二十一

條デアリマスガ、二十一條第三項「第一項第一號ノ輸出及輸入ノ業務ノ範圍ニ關シ必

要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト書イ

テアリマスガ、此ノ意味ハ命令デ以テ業務ノ範圍其ノモノヲ御決メニナル譯デスカ、

云フコトヲ明カニスル趣旨デアリマス

○大橋八郎君 ソレカラ二十二條デスネ、二十二條ノ第一項、之ニ依リマスト、命令ノ定期ル所ニ依ツテ交易營團ハ業務ノ一部ヲ他人ノ法人其ノ他ノ團體ニ取扱ハシメルコトガ依リマシテ先程ノ一般的ニ除外セラレタモノ外ニ、尙當然交易營團デヤリ得ル所ノ

仕事ヲ更ニ外ノモノニ委ネテヤラセル、斯  
ウ云フ趣旨ニナル譯デスカ

○政府委員(山口喬君) 左様デゴザイマス  
カ、或ハ契約ノ仕方ト云フコトヲ御決メニ  
ナルノデスカ、ドウ云フコトヲ決メルノデ  
スカ

○大橋八郎君 サウ致シマスト、二十二條  
ノ第一項ノ命令ト云フノハ唯認可ノ手續ト  
カ、或ハ契約ノ仕方ト云フコトヲ御決メニ  
ナルノデスカ、ドウ云フコトヲ決メルノデ  
スカ

○政府委員(山口喬君) 二十二條ノ命令ニ  
依リマシテ定メル内容デゴザイマスルガ、  
御話ノヤウナ内容デアリマシテ、詰リ二十  
二條ハ營團ガ致シマス交易業務ヲ例外的ニ  
調整機關ニ取扱ハセル、斯ウ云フ場合ノ規  
定デアリマシテ、ソコデ命令デ定メマス  
ルノハ、ドウ云フ調整機關ニスルカト云フ  
調整機關ノ此處デ申シマスレバ法人其ノ  
他ノ團體ヲ具體的ニ決メルコトヤ、ソレカ  
認可申請ノ手續等ヲ細カク規定スル趣旨デ  
アリマス

○大橋八郎君 此ノ規定ニ依リマスト、前  
條第一項ノ業務ノ一部ヲ取扱ハセルト云フ  
ノデアリマスガ、是ハ全面的ニ取扱ハセ  
ルト云フ、賣渡トカ云フコトダケヲ  
スカ

○政府委員(山口喬君) 左様デゴザイマス  
カ、或ハ契約ノ仕方ト云フコトヲ御決メニ  
ナルノデスカ、ドウ云フコトヲ決メルノデ  
スカ

イ時廣イ時ガアラウト思ヒマス、ソレヲ其  
ノ實體ニ副ヒマシテ、其ノ該當スル部分ヲ  
指スト、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ一部ト  
斯ウ云フ風ニ……

○大橋八郎君 サウ致シマスト、此ノ二十  
二條ノ第一項ノ規定ニ依リマシテ業務ノ一  
部ヲ取扱ハシメルト云フノハ、調整機關ノ  
方ノ話デ、貿易業務ヲ貿易業者ニ廻シテ下  
請ヲヤラセルト云フ御話ガアリマシタガ、  
アノ方ノ話ハ之ニハ入ラナイデスネ

○政府委員(山口喬君) 是ハ言葉ガ法人其  
ノ他ノ團體ト致シテ居リマスノデ、非常ニ  
廣クチヨット見エマスノデアリマスガ、御話  
ノ通り是ハ調整機關ヲ指シテ居リマシテ、  
御話ノ貿易業者ノ法人組織等ノ詰り業者、  
貿易業者ヲ含マナイ趣旨デアリマス

○大橋八郎君 此ノ規定ニ依ッテ一部ヲ取  
扱フ調整機關ト云フモノハ契約ヲ以テ取扱  
ハセルト云フ、斯ウ云フコトニナツテ居リ  
マスガ、サウ致シマスト、此ノ契約ニ依ッ  
テ取扱フ調整機關ト云フモノト、交易營團  
ノ何ト云ヒマスカ、關係ハドウ云フコトニ  
ナツテ居リマスカ、法律的ニ言フト、委任ヲ  
受ケテ代理ノ地位ニ立ツト云フヤウナ關係  
ニナルノデアリマスカ

○政府委員(山口喬君) 一種ノ委任契約デ  
アリマシテ、法人其ノ他ノ團體ノ立場カラ  
例ヘバ買入トカ、賣渡トカ云フコトデアリマス  
カ、或ハ輸入ナラ輸入ダケヲヤ  
ラセルト云フ風ニシナケレバナラヌト云フ、  
斯ウ云フコトヲ規定サレル譯デスカ

○政府委員(山口喬君) ソレハ此ノ調整機  
關ノ扱ツテ居リマス品物ノ關係等ニ依リマシ  
テ色々ナ場合ガアリマスノデ、或ハ輸出ダ  
ケ、或ハ輸入ダケ、或ハ輸出、輸入全部ト  
云フ風ニ、ソレドヽノ形態ニ依リマシテ狹

ト云フモノハ、全部交易營團ノ收支ニナツ  
テ吸收サレルノカ、ソレトモ獨立シタ事業  
者トシテ自己ノ計算ニ於テ此ノ仕事ヲヤル  
ノカ、ドウ云フ關係ニ立ツカ、此ノ委任ヲ受ケ  
テ代理ヲヤルト云フコトニナレバ、其ノ計  
算ハ交易營團ノ中ニ入ラケレバナラヌト  
思ヒマスガ、ソレトモ獨立シタモノト之ヲ  
御認メニナリマスカ

○政府委員(山口喬君) 委任關係デアリマ  
スノデ、其ノ委任ノ範圍ニ於キマシテ調整  
機關ガ活動致シマシテ、其ノ收支計算ハ營  
團ノ方ニ流レ込ム、斯ウ云フ風ニナリマス  
○大橋八郎君 ソコデ二十二條ノ第二項ヲ  
見マスト、前項ノ法人其ノ他ノ團體ガ第一  
項ノ業務ヲ取扱フ場合ニハ、第二十一條第  
四項ノ規定ヲ準用スルト云フコトニ相成ッ  
テ居リマシテ、此ノ規定カラ見ルト、何ダ  
カ獨立シタ事業者トシテ労クモノノヤウニ  
モ見エルノデアリマスガ、處ガ同ジク二十  
二條ノ第三項ヲ見マスト、今ノ委任ヲ受ケ  
タ事業者ノ從事員ハ、之ヲ交易團體ノ從事  
員ト看做スト云フヤウナ規定ガアツテ、實ハ  
ノ一部分ノヤウニモ見エルノデアリマス  
ガ、只今ノ御説明ニ依リマスト獨立ノ事業  
者デハナイ、是ハ計算其ノ他總テ營團ニ流  
レ込ムノデ、マア從屬シタ營團ノ一部トシ  
テ見ルベキ性質ノモノト、斯ウ了解シテ宜  
イ譯デスカ

○政府委員(山口喬君) 御話ノ通リデアリ  
マス

○大橋八郎君 ソレカラ其ノ次ガ三十條、  
三十一條、三十二條、三十三條ト云フ是等  
ノ條文ヲ見マスト、營團ノ剩餘金ノ規定ガア  
ルノデスガ、チヨット私其素人デ考ヘマス  
ト、此ノ營團ニハ餘リ利益ガ生レル源泉ガ  
ナイヤウニチヨット想像サレルノデアリマ  
スガ、ドウ云フ方面カラ此ノ利益ガ生レ  
来ルコトヲ豫想シテ居フレルノデスカ、從  
來ノ貿易業者デアリマスト、輸出入ス物ル  
品ノ價格差益ト云フモノハ利益トシテ生  
レルト考ヘラレマスガ、此ノ營團ノ方デ

約ニ依ルト云フコトハナイ譯デスガ、特ニ  
二十二條ノ場合ニハ契約ニ依ルト書イテ居  
ル、二十三條ハ契約ニ依ルトナイノハ何カ  
其處ニ特殊ノ事情ガアツタノデスカ

○政府委員(山口喬君) 二十三條ノ場合ハ  
保管ニ付キマシテ、此處ニ書イテ居リマス  
ルヤウナモノニ對シマシテ、保管ヲ請求ス  
ルト云フ場合デゴザイマス、其ノ内容ニ付  
キマシテハ、當事者間ノ契約ト申シマスル  
ヨリモ、緊急特殊ノ事情ニ依リマシテ一元  
的、一方的ト申シマスカ、或程度強制的ナ  
意味デ保管ヲ請求スル、強力ニ請求スルト  
云フコトニナツテ行ク場合ヲ指ス譯デアリ  
マス、從ヒマシテ、當事者相互間ノ所謂自  
由ノ契約デナク行キマセスト工合ガ惡イノ  
リト云フ所デ、ドウ云フ場合ニサウ云フ請求  
ガ爲シ得ルカト云フナコトヤ、其ノ間ノ手  
續、ソレカラ検査ヲ致シマスヤウナ場合ノ  
検査事項、費用ノ點等ニ付キマシテ、命令  
ニ於キマシテ細ク規定シテ居リマシテ、其  
ノ線ニ沿ウテ請求スルト、斯ウ云フコトニ  
シテ行キタト思ヒマス

○大橋八郎君 ソレカラ其ノ次ガ三十條、  
三十一條、三十二條、三十三條ト云フ是等  
ノ條文ヲ見マスト、營團ノ剩餘金ノ規定ガア  
ルノデスガ、チヨット私其素人デ考ヘマス  
ト、此ノ營團ニハ餘リ利益ガ生レル源泉ガ  
ナイヤウニチヨット想像サレルノデアリマ  
スガ、ドウ云フ方面カラ此ノ利益ガ生レ  
来ルコトヲ豫想シテ居フレルノデスカ、從  
來ノ貿易業者デアリマスト、輸出入ス物ル  
品ノ價格差益ト云フモノハ利益トシテ生  
レルト考ヘラレマスガ、此ノ營團ノ方デ

○政府委員(山口喬君) ソレハ此ノ調整機  
關ノ扱ツテ居リマス品物ノ關係等ニ依リマシ  
テ色々ナ場合ガアリマスノデ、或ハ輸出ダ  
ケ、或ハ輸入ダケ、或ハ輸出、輸入全部ト  
云フ風ニ、ソレドヽノ形態ニ依リマシテ狹

○大橋八郎君 任ヲ受ケテ業務ヲ取扱フ調整機關ト云フモ  
ノハ、獨立ノ事業者ノ立場ニ立ツノカ、ソレ  
トモ交易營團ノ委任ヲ受ケタ代理ノヤウナ  
地位ニ立ツテ、其ノ收支ノ利益ナリ危険ナリ

○政府委員(山口喬君) 御話ノ通リデアリ  
マス

○大橋八郎君 ソレカラ今一つ伺ヒタイノ  
ハ二十三條デアリマスガ、此ノ二十三條ノ  
重要物資ノ保管ヲサセル場合ニハ、特ニ契

ハ、差益差損ト云フモノハ總テ特別會計ノ方へ流レ込ムコトニナツテ居ル、サウ致シマスト、残ル所ハ保管業務ノ方ダケデアリマスガ、此ノ保管業務ノ方モドウモドウ云フ點カラ利益ガ出ルノカ、是モ分リ兼ネルノデスガ、現在ノ管理營團ノ實績ハドウデゴザイマスカ、相當利益ガ出テ居ルコトニナツテ居リマスカ

○政府委員(山口喬君) 大體ニ於キマシテ御話ノ通り、交易業務ノ方へ特別會計ノ關係ニ於キマシテ、出入リ無シデ行ク計畫ニ基イテヤリマスノデ、尙更出入リガ先ヅ無ト見テ差支ナイト思ヒマス、ソレカラ貯藏業務ノ方モ、實ヘ計畫ニ基イテヤリマシテ、其ノ間ノ所要金利、倉敷ハ政府カラ別途補給スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、唯、是モ色々手順ヲ決メマシテヤレバ、一ツノ大キナ意味ノ計畫ノ中ニ入ツテ來ルカト思ヒマスガ、國內價格ノ變更ノアリマシタヤウナ場合ニ、年期末等ニ於キマシテサウ云フコトガ起リマシテ、色々ナ關係デ其ノ數字カラ多少ノ出入リガアル、必ズシモ剩餘金デナシニ、出入リガアルト云フコトハ矢張リアリ得ルノデハナイカ、併シ是モ矢張リサウ大キナモノハナイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソコデ結局附帶業務或ヘ目的達成上必要ナ業務ト云フ風ナ意味デ、勿論分量的ニハ大キクナイト思ヒマスガ、矢張リ考ヘ方ト致シマシテハ、其ノ場合ヲ豫想シテ置ク必要ガアリマスノデ、ソレト、ソレカラモウ一ツハ重要物資管理營團ノ方デ最近ヤツテ居リマスル輸出滯貨ヲ、一手ニ肩替リ致シマシテ引受ケテ居リマス、是ノ處分方法等ニ依リマシテ、將來剩餘金ノ關係モ考慮ノ中ニ入レテ置ク必要ガアルノ

○政府委員(山口喬君) 今日迄ノ實情カラ見マシテ、剩餘金ハゴザイマセス  
○大橋八郎君 只今ノ御話デモ、此ノ重要な言葉ガアツタノデスガ、是ハ此ノ條文ノ何處カニ其ノ點ガ現レテ居リマスカ

○政府委員(山口喬君) 條文ノ關係ハゴザイマセスデ、此ノ計畫ニ基キマシテ致シマス時藏業務ノ方ノ運用ニ關シマシテ、左様ナ豫算的措置ヲヤツテ行ク方針デゴザイマス○大橋八郎君 サウ致シマスト、此ノ二十三條ノ命令ノ定ムルト云フ其ノ命令……省令ノ中カ何カデサウ云フコトヲ規定サレルノデスカ

○政府委員(山口喬君) 二十三條ハ營團方他人ニ保管フ請求スル場合デゴザイマス、外ノ方ニモ其ノ關係ノ條文ハ別ニ設ケテ居リマセヌ

○大橋八郎君 サウ致シマスト、其ノ豫算ヲ別ニ商工省ノ方デ何カ取ツテ、其ノ豫算ノ運用デヤル、斯ウ云フ御趣旨デスカ

○政府委員(山口喬君) 左様デゴザイマス

○大橋八郎君 今日迄其ノ倉敷料ヲ補給サレタ金額ハドノ程度デスカ

○政府委員(山口喬君) 昭和十七年九月迄ノ計算デゴザイマスガ、倉敷料トシマシテ、二百四十三萬四千圓ニナツテ居リマス○大橋八郎君 ソレカラ今一ツ、此ノ三十條ノ但書ノ所デアリマスガ、此ノ但書ニ

及第十一條第一項第二號ノ業務ノ爲借入レタル借入金、之ヲ補給金ノ限度ト、斯ウ云フコトニナツテ居ル譯デスガ、此ノ借入金ノ補給、利息ノ補給ノ點デ、第二十一條第一項第二號ノ爲ニ借入レタモノダケニ限定シテ、一號ノ爲ニ借入レル場合ガアルグラウト思ヒマスガ、此ノ方ノ利息ハ全然考慮ニ入レル必要ハナイカ、ソレトモ其ノ利息ノ方ハ賠償金ノ中ノ勘定ノ中ニ入ル計算ニナルノデスカ

○政府委員(山口喬君) 三十二條ノ但書デゴザイマスガ、是ハ要スルニ四分ノ配當ヲ保障致シマス爲ノ補給金ヲ考ヘタ譯デアリマス、ソレハ無限デナクテ一定ノ限度ヲ設ケル、斯ウ云フコトデアリマシテ、其ノ爲ノ限度ノ設ケ方、是ガ但書デアリマス、是ハ色々ナ方法ガアラウカト思フノデアリマスルガ、便宜二十一條第一項第二號、詰リ交易業務ノ方デナク、貯藏業務ノ方ヲ捉ヘマシテ、其ノ關係ノ借入金ノ利息、詰リ借入金ノ爲ノ金利ヲ一ツノ物指ト致シマシテ、ソレ迄ラ限度トスル、斯ウ云フ風ニ便宜取タノデアリマス、何故便宜ソレヲ取タカト申シマスト、交易業務ハ借入金ハ宜イ譯デアリマスガ、是ハ交易業務ノ營業資金トシマシテハ、外部カラ借入ヲ致ス譯デアリマス、是モ一ツノ物指トシテ出來ヌコトモアリマセヌガ、之ヲ一般銀行カラ借入マシテ、サウシテソレヲ使ツテ行クト云フコトデ、ソレニ對スルモノヨリモ貯藏業務ニ付キマシテハ先程申上ダマシタヤウニ、豫算的措置ニ於キマシテ大體計畫ヲ立テマシテ、是

及第十一條第一項第二號ノ業務ノ爲借入レタル借入金、之ヲ補給金ノ限度ト、斯ウ云フコトニナツテ居ル譯デスガ、此ノ借入金ノ補給、利息ノ補給ノ點デ、第二十一條第一項第二號ノ爲ニ借入レタモノダケニ限定シテ、一號ノ爲ニ借入レル場合ガアルグラウト思ヒマスガ、此ノ方ノ利息ハ全然考慮ニ入レル必要ハナイカ、ソレトモ其ノ利息ノ方ハ賠償金ノ中ノ勘定ノ中ニ入ル計算ニナルノデスカ

○政府委員(原口武夫君) チヨット補足致シマスガ、第一項第二號ノ方ハ特別會計ノ差益差損ヲ見マストカ、金利ヲ含ンデ面倒ヲ見ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○大橋八郎君 ソコデ今ノ御話デ能ク分リマシタ、次ニ第三十五條デゴザイマスガ、第三十五條ノ末項、詰リ價格差損ヲ決定スル基準ハ政府之ヲ定ムトアリマスガ、此ノ基準ハモウ大體腹案ハ出來テ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、若シ是ガナカッタナラバ、ドウ云フ基準デ價格差損ヲ御決メニナリマスカ、御示シヲ願ヒマス

○政府委員(山口喬君) 是ハ實ハ大體ノ見當ハ持ツテ居リマスガ、色々之ニ付キマシテ多少細カイ點等モアリマスルノデ、今折角關係方面ト協議中デゴザイマス、マア大體ハ輸入價格ガ決リマスノデ、ソレカラ國內ニ之ヲ入レマスル場合ノ國內價格ト云ノ輸入ニ要スル諸掛リ等ヲ睨ミ合セマシテ、一定ノ基準ヲ決メテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○大橋八郎君 只今ノ御話デアリマスト、此ノ基準ハ輸入價格ト國內價格トノ差ト手數料、斯ウ云フコトデアリマスガ、此ノ外ニ先程爲替局長カラ御話ニナツタ金利ガ入ル譯デスネ、サウ心得テ宜イ譯デスネ、其

ノ外ニマダアリマスカ、大體三ツノモノト  
考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(原口武夫君) 大體サウ云フ風

ニ考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 私チヨット伺ッ  
テ見タインデスガ、今ノ御話アリマスト、  
特別會計ノ方へ交易營團ノ交易業務ニ付テ  
ノ差益損ノ關係ダケヲヤルノデ、貯藏業  
務ニ要スル政府ノ補償金ト言ヒマスカ、ソ  
レハ此ノ特別會計ヲ通サヌデ、豫算デ以テ  
直接ニ營團ノ方トノ關係ヲ生ズルト心得テ  
宜シイノデスカ

○政府委員(原口武夫君) 御話ノ通リデゴ

ザイマシテ、特別會計ニ入ッテ参リマスル

ノハ、交易營團ノ色々ノ計算ニ於テノ交易

關係ノ差益デ、其ノ外貯藏關係ノ計算ハ特

別會計ト全然關係ガゴザイマセヌ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレカラモウ

一ツ政府委員ニ御尋ねシテ見タインデスガ、  
今度營團ガ出来マスト云フトスウナルノデ

アリマスカ、此ノ統制會ト云フモノハ解消

シ、ソレカラ調整機關ノ大部分ハ營團ニ接

收セラレテ、肥料、飼料ノ如キ或特殊ノ物

ガ命令ニ依ツテ調整機關トシテ存在シテ行

ク、併シ此ノ業務ハ營團ソレ自身ガ行フコ

トト、貿易實務者ヲシテ行ハシメルコトト

二ツニナッテ居リテ、從來中間ニ存在シテ居

タ所謂調整機關ナルモノハ全然解消シテシ

マフノダ、唯特定ノモノヲ除ケバ解消シテシ

マフノダト、斯ウ云フ風ナ形ニナルト大

體考ヘテ宜シイノデスカ

○政府委員(山口喬君) 大體左様デアリマ

ス  
○白根竹介君 此ノ調整機關ノ接收ガ現在  
存スルモノノ八割ヲ接收スルト云フ風ニナル  
ニ考ヘテ宜シイノデスカ

ノデスカ、此ノ接收ト云フコトハ、或調整  
機關ニ依ツテ解散ヲ命令シテ、交易營團

トシテヤルベキ仕事ヲ、解散セラレタル團

體カラ引受ケテ、交易營團ニ入レルト云フ

コトニナルノデスカ、ソレカラ又或調整機

編入シテ、他ノ部分ハ依然トシテ、名前ハ變

ルカモ知レマセヌガ、調整機關トシテ存續

スルト云フヤウナコトニナルノデアリマス

カ、ソシテソレハ會社ヲ解散サセルトカ何

トカ云フノハ、矢張リ會社ヲ作ル場合ニ、

何カ法律ノ規定カ何カニ依ツテヤルノデス

カ、ドウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(山口喬君) 調整機關ノ接收ノ

方法デゴザイマスガ、調整機關ノ持ツテ居リ

マスル機能ガ調整機能ノミノ場合ト、其ノ

外ノ例ヘバ検査機關トシテ働くイテ居ル部面

ノアルノモアリマス、其ノ外會社デナク組

合デアリマシテ、調整機關ガ所得貿易組合

法ニ基ク貿易組合ト云フ場合ニハ、本來ノ

サウ云フ貿易組合法ニ基ク貿易組合トシテ

ノ一種ノ機能ヲ持ツテ居ル譯アリマス、

色々調整機關ノ性質ガアル譯アリマス、

ソコデ其ノ中ノ調整機能ト云フモノハ、營

團ガ輸入、輸出ヲ致シマス關係上ソコラデ

シテノ存在ハ少クシタイト思ヒマス

○白根竹介君 サウスルト調整機關ヲ解體

サレルノハ任意デ、話合デヤラセル譯ゴ

ザイマスカ、何カ法的根據ヲ以テヤルノデ

スカ

○政府委員(山口喬君) 只今申上ゲマシテ、

ヤウナ事情ヲ考ヘマシテ、關係方面ト話合

デ進メテ行キタイト思ツテ居リマス

○白根竹介君 ドウモ接收スルト云フコト

ハ隨分倒ナ仕事デアラウト思ヒマスガ、

テ、調整機能ノ爲ニ出來マシタモノ等ニ付  
キマシテヘ、當然是ハ解散ヲ致スヤウニ運  
ブ積リデゴザイマス、併シナガラ検査機能  
ガ假ニアルト致シマシテ、アルカラト言ツ

テ、果シテ經理的ニソレダケデ成立ツカド

ウカト云フ問題モアルト思ヒマス、會社ノ

組織トシマシテヘ、組合ヨリモ更ニ經理的

ノ關係カラ見マシテ、事業ノ規模ガ小サク

ナリマシタ場合ニ、第二段ノ問題トシテ残ツ

タ機關トシテ殘リ得ルカドウカト云フ問題

モアラウト思ヒマス、ソレバ各ノ調整機

關ニ付キマシテ、サウ云フコトニソレバ

適スルヤウニ措置ヲスル、斯ウ云フ考デゴ

ザイマシテ、何レニシマシテモ調整機能ガ

ナクナルノデアリマシテ、名前ガ變ルト共

ニ、サウシテ殘リマシテモ其ノ性質ガ變ツタ

モノトシテ殘ル、デ理想ト申シマスカ、希

望トシマシテハ成ルベクサウ云フ中間的

ナ機構ノ存在ヲ簡素ニ致シマシテ、交易關

係ニ於キマシテヘ、營團ト貿易關係商社ト

直接結ビ附イテ簡素ニ強力ニヤツテ行ク、斯

ウ云フ積リデゴザイマスカラシテ、成ルベ

クサウ云フ調整機能ヲ接收致シマス際ニ、

假ニ他ノ機能ガアリマシテモ適當ニソレヲ

別途考ヘマシテ、成ルベクサウ云フ機關ト

シテノ存在ハ少クシタイト思ヒマス

○白根竹介君 サウスルト調整機關ヲ解體

サレルノハ任意デ、話合デヤラセル譯ゴ

ザイマスカ、何カ法的根據ヲ以テヤルノデ

スカ

○子爵阪谷希一君 昨日價格差益、差損竝

ニ爲替差益、差損ノコトニ付テ伺ッタコトヲ

繰返シテ伺フダケナンデアリマスガ、其ノ

時ノ御答ニ、爲替差益、差損ハ何カ支那ノ

通貨ニ對シテノ問題ノヤウニ伺ヒマシタガ、

此ノ交易營團ノ斯ウ云フ調整ノ時ニ、價格

差益、差損ト云フコトデナサル方ガ一見明

瞭デ便利ノヤウニ思ヘルノデアリマスガ、

ソレハ詰リ圓ト儲備券ガ十八圓ナラバ、之

ヲ基準トシテノ價格ノ差益差損ト云フ問題

知レマセヌガ、ソレハ活カシテ今後モドチ

ラデモヤツテ行カレルト云フ、實益ト云ヒマ

エルノデアリマスガ、其ノ爲替ト云フ觀念

ヲ通シテ、現實サウ云フ風ニナッテ居ルカモ

スル場合ニ、從來ノ調整料ノヤウニ或一定

ノ爲替ヲ其處ニ起シマシテ、サウシテ輸出

入業者ニ對シテ補償スル、斯ウ云フヤリ方

ト、ソレカラ其處ニ違ツタ爲替相場ヲ起スト

何カ委員デモ設ケテヤリマスカ、或ハ商工  
省當局ト調整機關トノ話合デヤツテ行クモノ  
デアリマスカ、ドウ云フコトニナルノデス  
カ、實行ノ方法ハ…

○政府委員(山口喬君) 大體今迄ノ仕事ノ

内容ナリ、經營狀況等ガ商工省ノ方デ能ク

行ツテ居リマスノデ、勿論關係方面ト何ト申

シマスカ、事實上ノサウ云フ問題ノ取運ビ

ニ付キマシテヘ、打合セテ話合ヲ緊密ニ持ツ

テ行キマシテ進ヌル譯デアリマスガ、別ニ

特別ノ委員ヲ作ルト云フヤウナ考ヘ持ツテ居

リマセス

云フコトヘ、是ハ語弊ガゴザイマスケレドモ、此ノ場合ニ於キマンテ從來我々ガ考ヘテ居リマシタ爲替相場トシテハ、違ツタ相場ガ起ルカノ如キ結果ヲ來スト云フヤリ方ニ依ツテ爲替銀行内部ノ處置トシテ片付ケル、此ノニツノヤリ方ガゴザイマスノデスガ、今回ハ其ノ何レカ場合々々ニ依リマンテ、又商品ニ依リマンテ、又相手地域ニ依リマシテ便宜ナ方法デ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマスルガ、昨日チヨット私モ御説明ガ足リマヌデシタガ、内地地域ニ於ケル通貨價値或ハ金融秩序、經濟秩序、之ニ支障ヲ來スヤウナ方法ハ絶対ニ之ヲ避ケル、斯ウ云方針ヲ採ツテ居リマス、是ハ爲替ノコトハ十分御承知デ、私カラ申上ゲル必要ハナイト思フノデスケレドモ、モット具體的ニ申上ゲマスト、假ニ支那ナラバ支那ニ二百圓ノ物ガ、ソレヲ内地デ公定價格ガ百圓デアル、二百圓デナケレバ支那デハ集メラレナイ、内地ノ低物價政策ヲ維持スル爲ニ茲ニ百圓、此ノ關門ヲ切ル譯ニハイカナイ、斯ウ云フ「ケース」ヲ非常ニ簡單ナ場合考ヘテ見マスルト、其處ニ只今御示シノ直截ナ素人分りノスルヤウナ方法ト云フモノハ、政府ガ内地デ輸入スル人ニ百圓渡シマシテ、サウシテ内地ニ輸入スル人ハ自分ノ懷中カラ百圓出シマシテ、サウシテ二百圓耳ヲ揃ヘテ銀行ニ持ツテ行ク、サウシテ輸入スル品物ヲ貰ト恐ラク左様ナ考へニナラウカト存ジマス、處ガ今政府カラ内地ノ輸入業者ニ渡ス百圓ト云フモノハ、是ハ必ズ全部ガ爲替銀行ノ手ニ戻ツテ參リマス、政府カラ申シマス

ト、一旦輸入業者ニ百圓ト云フモノヲ渡ス、是ハモット簡単ニ申上ゲマスト、マア名札見タヤウナ、名刺見タヤウナモノデ必シモ現金デナクテモ宜シイノデアリマス、合札見タヤウナモノヲ輸入業者ニ渡シマシテ、サウシテ輸入業者ヘ右ノ手デ政府カラソレヲ貰ヒマシテ、自分ノ百圓ノ金ト合セテ、サウシテ百圓「プラス」百圓デモ宜シウゴザイマスシ、手札デモ、名札デモ、ソレヲ持ッテ参リマス、政府ト銀行ノ間デ、ソレヲ先ニ政府ガ渡シマシタ百圓、或ハ百圓ニ相當スル手形ト申シマスカ、名札ト申シマスカ、サウ云フヤウナモノヲドウ處置スルカ、斯ウ云フ問題ガ後ニ残ツタノデアリマスガ、政府ノ側カラ申シマスト、サウ云フ風ニシテ一旦外ノ第三者ニ百圓ト云フ金ヲ渡シテ、結局ソレガ爲替銀行ニ戻ツテ來ル、ソレナラバソンナコトヲ三角關係ヲ起サナイデ、政府ト相手銀行ト或取極ヲスレバ宜クハナイカ、斯ウ云フコトモ實ハ段々考ヘラレルノデアリマス、殊ニソレカラ先ノ問題ガ非常ニ大事ナノデアリマシテ、輸出輸入業者ト銀行トノ關係、サウ云フモノト銀行同士ノ關係、斯ウ云フモノガゴザイマス、北支デ、阪谷委員能ク御承知デアリマスルガ、北支ニ於ケル正金銀行、朝鮮銀行ト云フモノト、北支ノ聯銀トノ間ニオ互ノ金ノ作り方ニ付テ或約束ガゴザイマス、其ノ恰好、其ノ約束ノ内容、斯ウ云フモノガ只今私ガ申上ゲマシテ先ノ關係ヲ受ケマシテ、非常ナ色々ノ違ツタ姿デ決済ガ出テ参リマス、マアサウ云フコトヲ實ハザgett考ヘマシテ場合ニ依リマシテハ、爲替ノ「オペレーシヨン」デ行ッタ方

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ  
〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ  
下サイ、ドウゾ質疑ヲ繼續シテ御願ヒシマス

○白根竹介君 極ク簡単ナコトデゴザイマスガ、輸出入ノ物品ニ對シテハ矢張リ關稅へ取ルノデセウカ

○政府委員(原口武夫君) 關稅ノ方ハ從來通リデゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ  
下サイ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ  
下サイ、只今ハ此ノ程度デ止メテ置キマシテ頗致シマス、午後一時半カラ開會致シマス

○出光佐三君 是ハモウ政府ノ方デハ色々簡單ニ行ク、併シ是モ昨日御話ノヤウニ、ソレニ依ツテ何カ通貨價値ノ變動デモ來スカノ如キ感ジヲ少クトモ現地ノ人、或ハ關係ノ一部ノ人ニ與ヘルト云フコトハ、是ハ避クベキデアリマシテ、私共ノ研究ニ依リマスト、左様ナ印象ヲ與ヘナイヤウナヤリ方デモ、尙且爲替上ノ操作ニ依ツテ價格差ノ調整ガ出來ルト云フ、實ハ研究ハ致シテ居リマス、チヨット速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

十分御研究ニナツテ、御考ニナツテ居ルコト  
ト思ヒマスケレドモ、國民トシテモ非常ニ  
重大ナ點デアリマスカラ、態大臣ニオイデヲ  
願ツテ御聽キスル譯デスガ、交易營團ノ問題  
ナンデスガ、是ハマア戰力増強ノ爲ニ物資  
ニナツテ居ル譯デスガ、サウシテ又國家ノ負  
擔モ輕減シヨウト云フヤウナ、第二ノ目的  
ヲ果サウト云フコトナシスガ、此ノ營團  
ノミヂハ、私ハ之ヲ完全ニ防ギ得ルカドウ  
カト云フコトヲ御聽キシタイ譯ナシデス、  
ト云フノハ、此ノ營團ハ日本ト満洲トカ、  
支那其ノ他ノ各占領地以外ノ各國トノ間ダ  
ケノ取極デアツテ、ソレ等ノ各地域ノ物資ノ  
交流ト云フモノニハ觸レテナイ譯ナンデス、  
サウスルト是等ノ各地ガ日本ニ物資ヲ供給  
スルニ付テハ、其ノ各地域デ物資ヲ生産シ  
ナケレバナラスト云ニ付テハ、其ノ各地  
ガ現在デハ矢張リ自給自足デナシ、過去  
モマアサウデアッタラウト思フノデスガ……、  
ソレデスカラ此ノ各地間ノ物資ヲ交流  
セシメナケレバ、矢張リ生産モ十分ニ行カ  
ナインデヤナイカ、例ヘバ満洲ノ鐵ヲ造ル  
爲ニ北支カラ石炭ヲ送ルトカ、北支ノ石炭  
ヲ掘ル爲ニ満洲ノ食糧ヲ供給シテヤルトカ、  
或ハ中支ノ方ニ石炭ヲ北支カラ供給シテヤ  
ルトカ云フヤウナ風ニ、是等ノ地域ノ間デ  
シテハ、マア是ハ政府デ色々ナ點カラ事情  
ガアツテウマク行カナイダラウト思フノデ  
スガ、御研究ニナツテ居ルト云フコトハ能ク

察シラレマスガ、之ニ對シテ公益營團デヘ  
何モ手ヲ着ケラレナイコトニナッテ居リマス  
ガ、ドウ云フ何カ對策ガアリマスカト云フ  
點ガ一點ト、ソレカラ此ノ物資ノ交流ニ非  
常ニ邪魔ニナッテ居ルノハ、各地域間ノ物價ノ  
相違デアリマスガ、此ノ物價ノ相違ヘ、是  
ハ日本ガ低物價政策デアルシ、外ノ所ヘ満  
洲、北支等モサウ云フ政策ノ下ニ統制ハサ  
レテ居リマズガ、徹底シテナイト云フ爲ニ、  
此ノ相違ト云フモノハ其ノ程度ガ益々激シ  
クナルンデヤナイカト云フ感ジガスルノデ  
ス、サウシマスト今心配シタヤウナ各地間  
ノ物資ノ交流、日本ト各地間ノ物資ノ交流  
ト云フモノハ益々困難ニナッテ來ル、延イテ  
ハ政府ガ財政ノ負擔ヲ輕減サレルト云ハレ  
ナガラ、輕減ドコロヂヤナイ、此ノ前ノ委  
員會出タンデスガ、非常ニ其ノ金額ガ殖  
エテ來ル、終ヒニハ數十億ト云フヤウナモ  
ノニナッテ、負擔ニ堪ヘナイヤウナコトガ起  
リハシナイカ、サウスレバ此ノ營團デハ一  
時急場ノ彌縫ハ出來ルケレドモ、將來ノコ  
トヲ緩和スルトカ、或ハ將來ヲ安泰ニスル  
トカ云フヤウナコトニハ役立タナイト云フ  
ヤウ感ジガスルノデアリマスカラ、ソレ等  
ノ點ニ付テ政府ハ何カ方法ヲ御執リニナッ  
テ居ルグラウトハ思ヒマスガ、御差支ナイ  
限り、一ツ御聽カセヲ願ヒタイト思フノデ  
ス、ソレカラ此ノ前ノ委員會モ兒玉委員  
長カラ御話ガアリマシタヤウニ、之ヲ放シテ  
置クト云フト、終ヒニハ日本ノ低物價政策  
ニ影響ヲ及シテ來ルヤウナコトモ起リハシ  
ナイカト云フヤウナ懸念モアリマスシ、此  
ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 東亞共榮圈内各地  
域間ノ物資ノ交流ノ問題デアリマスガ、御  
行クモノト直接ノ對象トシテ、之ノ實行ニ

意見ノ如ク此ノ公益營團ガ内地ニ於テ日本  
ヲ中心トシテ、必要ナ物資ヲ確保シテ行ク  
ト云フ目的ヲ達シマスル爲ニハ、矢張リ各  
地域間ニ於テ適當ナ物資ガ交流サレテ行カ  
ナケレバナラスト云フコトハ勿論デアリマ  
ス、今日日本ヲ中心トシテ是等ノ地域トノ  
物資交流ノ問題、ソレト密接ナル關係ノア  
ル各地域間ノ物資ノ交流ノ問題ニ關シマシ  
テハ、重要物資ニ付キマシテハ企畫院ガ中  
心ニナッテ、大體本年ノ重要物資ノ交流ノ、  
ドウ云フモノヲドウ云フ風ニ交流シテ行ク  
カト云フ計畫ハ、政府ニ於テ各方面ノ協力  
ノ下ニ立テルコトニナッテ居ルノデアリマス、  
今例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、滿洲ニ於テ  
鐵ヲ造ルト云フ爲ニ北支カラ何萬「トン」ノ  
粘結炭ヲ滿洲ニ持ツテ行クカ、又滿洲カラド  
レダケノ雜穀其ノ他ノ食糧ヲ北支ニ持ツテ行  
クカト云フ數量ト云フモノハ、寶ハ北支ト  
滿洲トノ間ニ勝手ニ何カ話合デヤツテ行ク  
ト云フ譯ニハ行カナインデアリマス、今日  
日本ガ中心トナッテ、東亞全體ニ於ケル食糧  
問題モ考ヘテ行カナケレバナラナイト云フ  
際ニ於キマシテハ、滿洲ノ食糧ヲ中ドレダ  
ケノ部分ヲ或ハ朝鮮ニ持ツテ行キ、ドレダケ  
ノ部分ヲ北支ニ持ツテ行キ、中支ニ持ツテ行  
カト云フ問題ハ、他ノ方面カラノ食糧供給  
ノ關係、需給ノ關係ト云フモノト睨ミ合  
セテ、全體ヲ一つノ眼デ見テ計畫ヲ立テ  
ケレバナラスト思フノデアリマス、今日モ大  
體現地各機關ト日本ノ政府トノ間ニ、此ノ  
關係ハ根本的ノ問題ニ付キマシテハ大體ノ  
計畫ガ立テラレタ計畫ノ中日本ヲ中心ト  
國ハ此ノ立テラレタ計畫ノ中日本ヲ中心ト  
シテ、日本ニ入シテ來ルモノト日本カラ出テ

當ルト云フノデアリマス、各地間ニ於テ此ノ  
計畫通り、又計畫ノ線ニ沿ウテ現實ニ物資ガ  
交流スル爲ニハ、現地ニソレバノ機構ガ現在  
モ不完全ナガラアリマスガ、段々之ガ整備サ  
レテ參ツテ來ナケレバナラスト思フノデアリ  
マス、例ハバ滿洲ニ於テハ農本公社ハ農作物  
ノ一切ノモノヲ扱フ、或ハ日滿商事ガ重工  
業ノ生產品ヲ扱ツテ居ルトカ、或ハ生活必需品  
會社ガ生活必需品ニ關スル限リ扱フト云フヤ  
ウナ機構ガ滿洲ニ於テモアリマス、或ハ中支ニ  
於テハ軍票組合ノ如キモノガアリマシテ、  
北支ニ於キマシテモ無論ソレバノアルノデ  
アリマス、是等ガ今後物資ノ交流ヲ計畫的  
ニ確保シテ行ク爲ニハ設備サレテ行カナケ  
レバナラスト思フノデアリマス、大東亞省  
ニ於キマシテモ、ソレバノ地域ノ特質ニ  
合ツタ是等ノ機關ノ整備ニ當ラレテ居ル譯デ  
アリマスガ、ソレ等ノ機關ト交易營團トノ  
關係ガ、或ハ人的ノ方面カラ、或ハ必要  
ガアレバ資本的ノ方面カラ、其ノ他少ク  
トモ實質的ニ十分ナ密接ナ連繋ヲ以テ仕事  
ヲ執ツテ行クコトニ付キマシテハ商工資、大  
東亞省、又現地ノ大東亞省ノ機關トノ間ニ  
十分今日具體的ニ話ヲ進メテ居ル譯デアリ  
マス、十分はハ緊密ニ連絡ヲ執ツテ行カウ、  
之ニ依ツテ今御懸念ニナッテ居リマスルヤウ  
ナ支障ヲ來サナイヤウニ出來ルダケ持ツテ  
行キタイト思ツテ居リマス、其ノ最モ徹底シ  
タ形ハ、現地ニ交易營團ノ分團ト云フモノ  
ヲ作ツテ、交易營團自身ガ總テノ現地ニモ出  
行ハレテ居リ、從ヒマシテ色々ナ意味ニ  
於ケル資金ノ、戰時ノ必要ニ基ク所ノ資金

味カラ言ヘバ一番徹底シタ形ニナルト思フ、  
現地ニハ現地ノソレバノ事情ガアリ、今  
申シマシタヤウニ、既ニ色々ナ事情カラ發  
足シテ來テ居ル關係モアリマスシ、少クト  
モ私共ノ最少限必要トル所ハ、是等ノ機  
關ト交易營團ノ關係ガ實質的ニ十分連絡ヲ  
付ケ、密接ナ關係デ以テ、是ガ活動ヲスル  
ト云フ風ニ指導シテ參リタイト、斯ウ思ツテ  
居ル譯デアリマス、次ニ此ノ内外各地域ニ  
於ケル物價水準ノ相違、是ガ物資ノ交流ヲ  
非常ニ邪魔シテ居ル問題デアリマス、又御  
話ノ如ク是ガ此ノ状況ニ於テ、而モ必要ナ  
物資ハ是非トモ交流シナケレバナラナイト  
云フコトヲ達成スル爲ニ、國家トシテモ財  
政的ニ相當ナ負擔ヲシテ來テ居ル、將來ノ  
話ノ如ク是ガ此ノ状況ニ於テ、而モ必要ナ  
物資ハ是非トモ交流シナケレバナラナイト  
云フコトヲ達成スル爲ニ、國家トシテモ財  
政的ニ相當ナ負擔ヲシテ來テ居ル、將來ノ  
話ノ如ク是ガ此ノ状況ニ於ケル物價ノ  
見透シノ問題、又更ニ延イテハ斯ウ云フ狀  
況ニ段々拍車ヲ掛ケルト云フヤウナコトニ  
ナルト、日本ノ低物價維持ノ前途ニモ相當  
ナ懸念ガアルノデヤナイカト云フ風ナ問題  
デアリマスガ、今日各地域ニ於ケル物價ノ  
狀況ハ色々ナ理由カラ、此ノ物價ガ地域  
毎ニ御承知ノ通リ相當ナ相違ヲ來シテ居  
ルノデアリマスガ、全體カラ申シマシテ、日  
本ガ一番最低位ニアリマスガ、續イテ滿洲  
或ハ、北支、中支ト云フ風ニ相當ニ水準  
ガ違ツテ居ル、其ノ原因ニハ色々ノコトガア  
リマスガ、從來ノコトカラ言ヒマスト、貨  
幣制度ノ確立ト云フコトガ十分行ハレテ  
居ラナイト云フコトモ其ノ一つデアリマ  
ス、或ハ大陸諸地域ニ於テ物資ノ集荷配  
給ノ組織ト云フモノガ、完備シテ居ラナイ  
ト云フコトモ一つノ原因デアリマス、併  
シ其ノ大キナ問題ハ、言フ迄モナク戰爭ガ  
行ハレテ居リ、從ヒマシテ色々ナ意味ニ  
於ケル資金ノ、戰時ノ必要ニ基ク所ノ資金

ノ放出ト云フモノガ非常ニ多イ、之ヲ裏付ケルダケノ物資ト云フモノガ、裏付物資ト云フモノガ其處へ行ッテ居ラナイト云フ 點ニ大キナ原因ガアルト思ヒマス、色々ナ原因ニ對シマシテハ政府ト致シマシテモ、是ハ日本ノ低物價政策ヲ堅持スル意味カラ言ツテモ、物資ノ交流ヲ圓滑ナラシタルコトカラ言ヒマシテモ、或ヘ又現地ノ民生ノ安定ト云フ意味カラ申シマシテモ、色々ナ意味カラ申シマシテ、是等物價昂騰ノ勢ヲ抑ヘテ、適當ニ物價水準ト云フモノヲ安定セシメルト云フコトニ付キマシテハ、從來トモソレドヽ力ヲ用ヒテ來テ居ル譯デアリマス、或ハ幣制ノ統一ノ問題、或ハ現地ニ於ケル集荷配給機構ノ整備ノ問題、或ハ占領地、非占領地間ニ於ケル物資交流ニ對スル適當ナル規正ノ問題デアリマストカ、マア色々ノ點カラ是等地域ニ於ケル物價暴騰ノ勢ヲ抑ヘテ、サウシテ適當ナ水準ニ之ヲ安定セシメルト云フコトニ付キマシテハ、現地ノ各、ノ機關ハ非常ニ協力シテ努力ヲシテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ實際ノ問題カラ申シマシテ、非常ナ複雜ナ關係ニナッテ居リマシテ、之ヲ急速ニ比較的低イ所ヘ持ツテ行ツテ安定セシメルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、相當ナ困難ガアルコトハ言ヲ俟タナイノデスガ、併シナガラ今日ノ、又將來ノ問題ト致シマシテモ、此ノ物價昂騰ノ勢ヒヲ唯其ノ儘ニ放置、放任スル、若シクハ之ニ對シテ適當ナ處置ガナイト云フヤウナ爲ニ、之ヲ放置スルト云フヤウナコトニハ政府ハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、有ラユル角度カラ是ガ是正ニ付キマシテハ、十分ニ努力ヲ致シテ參リマシテ、兎ニ角物

ナコトニナラヌヤウニ、極力努力シテ參ヲ  
ナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ是等  
ノ價格ガ日本ノ低物價維持ノ上ニ及ス影響  
ト云フモノハ、斯ウ云フ風ニ爲替水準が違ツ  
テ居リマスト云フト、兎ニ角良イ影響ヲ與  
ヘルコトハナイ譯デ、此ノ交易營團ヲ設ケ  
テ此處デ價格差ト云フモノヲ調整シテ行ク  
ト云フ考ヘ方ハ、出來得ル限り是等諸地域ノ  
物價ノ水準ノ違ツテ居ル其ノ物價ガ、日本ノ  
低物價政策ニ及ス影響ト云フモノヲ此ノ交  
易營團デ「チャック」スルト云フ狙ヒガ、一ツ  
ノ大キナ營團ヲ作リマシタ「ツノ狙ヒデアリ  
マシテ、從ヒマシテ此ノ交易營團ガ十分活  
動スルト云フコトガ出來マスト云フト、是  
等諸地域ニ於ケル高物價ガ、直接ニ日本ノ  
低物價政策ヲ脅威スルト云フコトニ付キマ  
シテハ、餘程之ヲ緩和シ得ルモノト思フノ  
デアリマス、何レニ致シマシテモ此ノ各地  
域ニ於ケル今日ノ物價狀況ト云フモノ、ソ  
レノ將來ノ見透シ、之ニ對スル對策ト云フ  
モノハ、相當ニ前途ニ困難ガ横ツテ居リマ  
スカラ、政府モ有ラユル方面カラ十分ノ努  
力ヲ致シ、其ノ方面ノ施策ヲ併セ行クテ、極  
力はノ昂騰ノ機運ヲ抑ヘテ行クト云フコト  
デナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ  
居リマス

支ハ圓、元「パー」ト云フコトニナツテ居リマスカラ調整ノ操作ガナイコトニナツテ居リマスカラ、斯ウ云フ方面ニ對シマシテ、放ツテ置ケバ何時迄セ限リアル所ノ此ノ物價ノ相違ト云フモノハ大キクナッテ、何處迄行ツテモ取止メガナイヤウナコトニナルノデスガ、サウ云フ日本ト各地トノ關係ダケデモ、何カ原因ヲ除去シ得ルヤウナコトヲ御考ニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ如ク此ノ爲替ノアリマスル地域ニ於キマシテハ、爲替ノ操作ニ依ツテ是ハ點マデ物價ノ問題ハ解決出来ルト思フノアリマスガ、日本トノ間ニ平價ノ原則ガ決マラテ居ル、又是ハ其ノ理由ニ色々ナ理論的ニ之ニ對スル議論ガアルト致シマシテモ、現實ノ問題トシテ之ヲ堅持シナケレバナラナイ理由ノアル地域ニ對シマシテハ、是ヘナカノ此ノ方法ニ依ツテヤツテ行クト云フコトガ、爲替ノ所謂操作ニ依ツテヤツテ行ク途ガ断タレル譯デアリマス、ソコニ非常ナ困難ガ出テ來ル譯デアリマス、從ヒマシテ此ノ爲替ノ操作ノ、出來得ル地域ダト、比較的此ノ問題ハ簡單ナ問題デアルケレドモ、是ガ出來ナイト云フ地域ノ物價問題、内地トノ關係ノ調整ノ問題デアリマスガ故ニ、今申シマシタヤウナ、是ハ交易營團、是ハ結局ハ國家ノ財政負擔ニナラザルヲ得ナイト思フ、今日迄ヤツテ參リマシタ調整等ノヤリ方ヨリハ、國家ノ財政的負擔ヲ輕減スル方法デアリマスケレドモ、併シ物資交流ノ數量的ナ、財政的負擔ト云フモノハ非常ニ大キナモノ

デアルコトハ、是ハ出光サンノ御質問ノ通  
リデアルト思ヒマス、是等ニ對シマシテハ  
結局今後大東亞共榮圈、又日本ノ産業、是  
ハ戰爭ノ先遂ト睨ミ合シマシテ、國內ニ於  
ケル一般生産物資ト云フモノガ豊富ニナッ  
テ來テ、向フカラ取ル物ニ對シテ裏付ケス  
ルダケノコチラノ物資ガ送レルト云フコト  
ニナレバ、此ノ差額ト云フモノハ段々調整  
サレルコトニナリマス、是ハ戰爭ノ進行ト  
睨ミ合シテ考ヘテ行カナケレバナラヌ、斯  
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○委員長(伯爵兒玉秀雄) ソレデハ休憩  
ヲ致シマス、二時半ニ再開致シマズ  
午後二時二分休憩

行カナケレバナラスト云フヤウナ次第デ其ノ計畫ヲ立テ居ルヤウナ譯デアリマス、ソコデ燃料局ニ於キマシテハ醸酵法ニ依ル「ブタノール」「アセトン」ノ工場ヲ造ラウト云フ譯デ、從來ノ「アルコール」工場ノ一部ヲ極ク簡単ナ模様換ニ依リ轉換スルコトト致シマシテ、「ブタノール」「アセトン」ヲ造ルト云フ計畫ヲ立テマシテ、豫算等モ御願シシテ居ル譯デアリマス、此ノ原料ト致シマシテハ諸、馬鈴薯ヲ使ヒマス、其ノ結果「アルコール」ガ減リマスカラ、「アルコール」ヘ砂糖ノ方面カラ補フト云フヤウナコトニ致シマシテ生産シテ參ルコトニシテ、此ノ「ブタノール」「アセトン」ハ「アルコール」ノ生産見合ヲシナガラ、出來ル限り増産ニ努メテ行キタイト、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、又今後出來ルダケサウ云フ風ニヤシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵安場保健君 私ノ聞イテ居ル所デ、醸造法ニ依テヤル「ブタノール」ノ製造法ノ資材ト、ソレカラ合成法ニ依ル資材トハ寧ロ釀造ノ方ガ資材ヘ餘計要ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマスガ、サウ云フコトハアリマス

○政府委員(楠瀬常猪君) 今ノ合成法ト醸造法ニ依リ要スル資材ノ比較デゴザイマスガ、此ノ技術的ナ方面ノ御答へ只今説明員ヲ呼ビマシテ、其ノ方カラ御答へ致サセテ貰ヒマス、尙且下計畫シテ居リマス、兩方ノ比較ニ依リ資材ガドウ云フ風ニ要ルカドウカト云フ問題ニ付テ、後ニ御答へサセテ戴キマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チヨット私同ヒタインデスガ、是ハ營團ヲ設立スルニハ此ノ法案ニ依リマスト云フト、設立委員ヲ拵ヘテ、サウシテ設立委員デ準備ヲシテ初メテ出来ルコトニナリマスカ、營團ガ出来テ仕事ヲ始メルノハ何月頃ニナリマスカ

○政府委員(山口喬君) 六月一日カラノ豫定デ進ミタイト思ヒマス、豫算等ノ關係ハ六月一日カラ……

○男爵向山均君 燃料關係ニ付キマシテハ人ガ足りナニ、特ニ高級ノ技術者ガ非常ニ足リヌヤウニ伺ッテ居リマスガ、一方平和産業ニ從事シテ居ル化學系統ノ人ガ相當アリマスガ、是ガ重要產業、主トシテ燃料ノ方ニ替ル程度等ガ適切ニ行シテ居ルデアリマセウカ、ドウモ聞ク所ニ依レバ多少其ノ手ノ打チ方ガ遅イヤウナ感ジノスル點ガゴザイマス、又はハ速記ニ留ヌテヘドウカトモ思ヒマスケレドモ、相當軍ノ方ニ、軍ノサウ云フ技術關係デナイ方ニ未ダニドンヽ行ク人モ多ニヤウニ思フノデアリマスガ、ソコイラニ付テ大事ナ人ヲ確實ニ燃料系統デ握ルト云フコトニ付テ、十分ナ手段方講ゼラレテ居ルカドウカ、ソコヲチヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(楠瀬常猪君) 燃料關係ニ於キマシテ、石油ノ技術員ガ非常ニ要ルト云フ見透シヘ固ヨリアル譯ゴザイマシテ、將來ノ南方モ睨ミ合セマシテノ大東亞ノ開發計畫ト云フ點カラ考ヘマスト、技術員ハ相當ノ要ル見込ヲ立テ居ル譯デアリマス、ソノ量デ濟ムト云フコトニナシテ居リマス、兩方ノ比較シテ参リマスノデ、資材ノ方モ極ク少轉換シテ參リマスノデ、資材ノ方モ極ク少貴ヒマス、尙且下計畫シテ居リマス、兩方ノ呼ビマス、尙且下計畫シテ居リマス、兩方ノ比較シテ参リマスノデ、資材ガドウ云フ風ニ要ルカト云フ問題ニ付テ、後ニ御答へサセテ戴キマス

○國務大臣(岸信介君) 石油ノ專賣制度ヲ執リマシタ理由ニ付キマシテヘ、本會議及委員會ニ於テ御説明申上ゲタ通りデアリマス、尙將來斯ウ云フ點ニ付キマシテモ、產業ノ再編成ト云フヤウナ問題ト睨ミ合セマシテ、出來得ル限リノコトヲ考ヘテ參リタイト思ヒマス、尙下級ノ方面ノ教育施設ト致シマシテヘ、最近ニ興亞工學院ト言フ特殊ノ學校ヲ作リマシテ、目下生徒ノ養成ヲヤッテ居ルヤウナ狀態デアリマス

○出光佐三君 大臣ニ度々オイデヲ願シテ恐縮デスガ、石油專賣法ニ付テ一ツ御尋ねシタインデスガ、是ハ非常ニ重要ナ物資デ、シタインデスガ、是ハ非常ニ重要ナ物資デ、コデ現在ノ所ハ此ノ技術員ノ養成ノ方ニ於ニ要ル見込ヲ立テ居ル譯デアリマス、ソノ量デ濟ムト云フコトニナシテ居リマス、兩方ノ比較シテ参リマスノデ、資材ガドウ云フ風ニ要ルカト云フ問題ニ付テ、後ニ御答へサセテ戴キマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チヨット私同ヒタインデスガ、是ハ營團ヲ設立スルニハ此ノ法案ニ依リマスト云フト、設立委員ヲ拵ヘテ、サウシテ設立委員デ準備ヲシテ初メテ出来ルコトニナリマスカ、營團ガ出来テ仕事ヲ始メルノハ何月頃ニナリマスカ

○政府委員(山口喬君) 六月一日カラノ豫定デ進ミタイト思ヒマス、豫算等ノ關係ハ六月一日カラ……

○男爵向山均君 燃料關係ニ付キマシテハ人ガ足りナニ、特ニ高級ノ技術者ガ非常ニ足リヌヤウニ伺ッテ居ルデアリマスガ、此ノ平和産業ト申シマシテモ、技術者ノ方面ハ平和産業ノ内ニモ重點的ナ工場等モゴザイマスルノデ、其ノ方デ相當人ヲ要スルヤウナ状態デアラウト思フ譯デアリマスガ、此ノ平和産業ト申シマシテモ、技術者ノ方面ハ平和産業ノ内ニモ重點的ナ工場等モゴザイマスルノデ、其ノ方デ相當人ヲ要スルヤウナ状態デアラウト思フ譯デアリマスガ、殆メテ居ル譯デゴザイマス、平和産業ニ從事シテ居リマスル技術者ヲ利用シテ來ルト云フ問題ニ付キマシテハ、確カニ重要な問題デアラウト思フ譯デアリマスガ、此ノ平和産業ト申シマシテモ、技術者ノ方面ハ平和産業ノ内ニモ重點的ナ工場等モゴザイマスルノデ、其ノ方デ相當人ヲ要スルヤウナ状態デアラウト思フ譯デアリマスガ、殆メテ居ル譯デゴザイマス、平和産業ハ總デ統制會ガアリマシテ、ソレニ政府ノ權限ヲ委讓サレテ、民間ニヤラスト云フヤウナ方向ニ御向ヒニナシテ居ル、石油ノ方ハ統制會ハアリマセヌガ、殆ノ他ノ重要產業ハ總デ統制會ガアリマシテ、ソレニ政府ノ權限ヲ委讓サレテ、民間ニヤラスト云フヤウナ方向ニ御向ヒニナシテ居ル、石油ノ方ハ統制會ハアリマセヌガ、殆

モノガ此ノ各産業ニ於ケル動力源トシテ、石油ト云フ  
極メテ重要ナ意味ヲ持テ居リマスダケニ、  
此ノ配給ガ計畫通り行クカドウカト云フ  
コトハ、色々ナ他ノ方面ニ於キマシテモ重  
要ナ影響ヲ與ヘルノデアリマス、今日油自  
身ノ民需產業方面ニ配給セラルベキ量ガ非  
常ニ制約サレテ居ル、此ノ現下ノ情勢ニ於  
キマシテ、而モ必要ナ部面ニ於テハ必要ナ  
時期ニ必要ナ量ト云フモノガ、必ず確保サ  
レテ行カナケレバナラヌト云フ緊要ヲ、  
極メテ強ク感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、  
從來長イ間ズット此ノ配給統制ニ關シマシ  
テ、民間各方面ノ協力ノ下ニ段々組織ガ完  
備シテ參ツテ來タノデアリマスガ、今迄ノ中  
央及ビ地方ニアリマス所ノ石油配給機構等  
ノ狀況ヲ以テ致シマシテモ、今申シマシタ  
ヤウナ緊迫シタ事態ニ應ジテ、遺憾ノナ、イ  
ヤウナ配給ノ實績ヲ擧ゲテ行クト云フコト  
ハ、極メテ困難ナ事情ニアルト思ハレルノ  
デアリマス、是ガ此ノ石油ニ付キマシテ特  
ニ專賣法ヲ布イテ、指示機關ト現場把握ト  
ヲ一元的ニシナケレバナラナイ理由デアリ  
マス、而モ此ノ法律ヲ、戰時中ニ於ケル臨  
時立法ト致シタ趣旨モソコニアルノデアリ  
マス、從ヒマシテ政府トシテハ、原則トシ  
テハ統制會其ノ他ノモノニ依リマシテ、民  
間ニ權限ヲ委譲スルナルナリナンナリシテ指導  
シテ、出來ルダケノ配給ノ維持確保ランテ  
行クト云フ進ミ方デ、原則ハ總テノ物資ニ  
付キマシテハ私ハ其ノ考へ方デ今後モ進  
テ、ソレヨリモ一步進シダ強力ナ配給機構

提案スルニ至ツタ理由デアリマス

ノ二元化ニ置カレルト云フコトハ、其處ニ  
非常ナ面倒ガ起リハシナイカ、例ヘバ手續  
一、直ニテ次ヘ是、アレハシニテ、七事ヲ題ヘ

ルヤウナコトヲ一方ニ總理大臣ナンカガ聲明サレテ居ルノデスカラ、サウ云フ所ニ反

アルカト云フコトハ、是ハ議論ノアル問題ニナリマスガ、ソレハ別トシマシテ、石油ガ非常ニ重大デアレバアル程、此ノ配給ヲ法ガヒヨットシタナラバ逆效果ヲ來シハシナリカト云フ懸念ヲ持テ居ルノデアリマス、イカト云フ懸念ヲ持テ居ルノデアリマスガ、私ハ此ノ專賣ト申シマスノハ、其ノ指示機關ト現物把握機關ハ一元化サレタカモ知レマセヌガ、現物把握ニ於テ二元化シテ來テ、所謂專賣局デ御持ニナリ、民間統制會社デ持ッテ居ルト、其ノ把握ニ於テ二元ダシ、今度ヘ配給スル上ニ於テ專賣局モ配給ナサレ、統制會モ配給スルト云フコトデ、是ガ又二元化スルト云フコトデ、此ノ重大ナル方面ニ二元化シナイカ、統制會モ先程申シマシタ配給會社デ、全國ヲ打ッテ一丸トシテ配給統制會社デスカラ、是ハ專賣ニ依ッテ把握サレテ配給サレルノト殆ド大差ナイト私ハ思ッテ居マスガ、現在デモ餘り間違ッタコトモナイヤウニ思ッテ居リマスカラ、之ヲ強化サレ、ベ同ジ倉庫ニアル物デ專賣局ノ物モアレバ又宜イデヤナイカ、ソレニ其ノ會社ノ倉庫ニアル物、或ハ整理會社ノ倉庫ニアル物ヲ又專賣局ノ方デ把握サレルト云フコトニナレバ、ベテモ、專賣局カラ統制會社ニ渡サレテ統制會社ガ配給ヲスル、是ハ完全ニ二元ニナル、ヲ來シハシナイカ、又配給ノ上ニ於キマシテモ、專賣局カラ統制會社ニ渡サレテ統制會社ガ配給ヲスル、是ハ完全ニ二元ニナル、サウスルト從來ヘ民營一元化デアッタカラ宣イカモ知レマセヌガ、今度ハ官營ト民營ト

ト云フコトヘ、法規ヤラ色々ナ關係ガアツテ  
私ハ當然ダト思<sup>タ</sup>テ居リマスガ、其ノ能率ノ  
遅イ官廳ガ又上ニ一ツ、屋上屋ヲ架スト云  
フコトニナレバ、此ノ目指シテ居ラレル所  
ト反対ニ逆效果ヲ來シハシナイカト云フコ  
トヲ心配スルノデアリマス、此ノ間カラ色  
色説明ヲ聽イテ見マスト、石油ノ最モ窮屈  
ナノハ十八年度、今年デアル、來年カラ  
突發ノ事由ガナイ限りハ多少緩和サレテ來  
ルト云フヤウナコトモ、御話ヲ承<sup>タ</sup>テ居ル譯  
デアリマスカラ、此ノ今年一年が非常ニ  
大ナ私ハ時デアラウト思フ、其ノ時ニ機構  
イジリヲヤッタリ、ヤリ方ヲ變ヘタリ、屋上  
屋ヲ架シタリスルヤウナコトヲヤルト、非  
常ナ問題ヲ起シヤシナイカト云フヤウナ懸  
念ガアリマスカラ、若シオヤリニナルナラ  
バ今年ダケデモ御待チニナツテ、來年少シ  
緩和サレタヤウナ時ニ、此ノ法案ガ假ニ今  
度通過シマシテモソレ迄オ延バシニナルヤ  
ウナコトモ一ツノ策デヤナイカト思フノデ  
アリマス、ソレカラモウ一ツハ、私ハ此ノ  
前迄ハ民間ノ人ノ話ヲ少シモ聽カナカッタノ  
デアリマスガ、此處デ色々タト話ヲ聽イテ見  
マスト私ノ考ニピッタリ來ナイ所ガアルカラ  
ラ、民營ノ方ノ會社ノ人ヤラ何ヤラニドウ  
云フ風ニ思<sup>タ</sup>テ居ルカ、實ハ聽イテ見マシタ  
ガ、處ガ我々ハ一生懸命ニ政府ニ協力シテ  
ノ協力ヲ求メラレタリ、或ハ機構イジリヲ  
今迄ヤツテ來タト思フニ拘ラズ、今度騙シ  
チニヤラレテ非常ニ全體ガ動搖シテ居ルト  
云フコトヲ聽イタノデス、政府ガ折角國民  
遅イ官廳ガ又上ニ一ツ、屋上屋ヲ架スト云  
フコトニナレバ、此ノ目指シテ居ラレル所  
ト反対ニ逆效果ヲ來シハシナイカト云フコ  
トヲ心配スルノデアリマス、此ノ間カラ色  
色説明ヲ聽イテ見マスト、石油ノ最モ窮屈  
ナノハ十八年度、今年デアル、來年カラ  
突發ノ事由ガナイ限りハ多少緩和サレテ來  
ルト云フヤウナコトモ、御話ヲ承<sup>タ</sup>テ居ル譯  
デアリマスカラ、此ノ今年一年が非常ニ  
大ナ私ハ時デアラウト思フ、其ノ時ニ機構  
イジリヲヤッタリ、ヤリ方ヲ變ヘタリ、屋上  
屋ヲ架シタリスルヤウナコトヲヤルト、非  
常ナ問題ヲ起シヤシナイカト云フヤウナ懸  
念ガアリマスカラ、若シオヤリニナルナラ  
バ今年ダケデモ御待チニナツテ、來年少シ  
緩和サレタヤウナ時ニ、此ノ法案ガ假ニ今  
度通過シマシテモソレ迄オ延バシニナルヤ  
ウナコトモ一ツノ策デヤナイカト思フノデ  
アリマス、ソレカラモウ一ツハ、私ハ此ノ  
前迄ハ民間ノ人ノ話ヲ少シモ聽カナカッタノ  
デアリマスガ、此處デ色々タト話ヲ聽イテ見  
マスト私ノ考ニピッタリ來ナイ所ガアルカラ  
ラ、民營ノ方ノ會社ノ人ヤラ何ヤラニドウ  
云フ風ニ思<sup>タ</sup>テ居ルカ、實ハ聽イテ見マシタ  
ガ、處ガ我々ハ一生懸命ニ政府ニ協力シテ  
ノ協力ヲ求メラレタリ、或ハ機構イジリヲ  
今迄ヤツテ來タト思フニ拘ラズ、今度騙シ  
チニヤラレテ非常ニ全體ガ動搖シテ居ルト  
云フコトヲ聽イタノデス、政府ガ折角國民

モ甚ダ面白クナイト云フヤウナ感ジガアリ  
マスカラ、是等ニ對シテモドウカ政府トシ  
テ今後善處サレムコトヲ希望シタイ譯ナノ  
デスガ、今ノ逆效果ヲ私ハ來スト云フコト  
ヲ實ハ心配シテ居ル譯ナノデスガ、是ハ如  
何デアリマスカ  
○國務大臣(岸信介君) 色々御心配カラ御  
意見デアリマシタガ、大體現在アリマスル  
配給機構等ハ今後專賣ヲヤツテ行キマス上ニ  
於キマシテモ、專賣ノ手足ト申シマスカ、  
下部機構ト申シマスカ、是ハ出來ルダケ活  
用シテ參リマシテ御心配ノヤウナ、何カソ  
ニ非常ナ機構ノ大變動ト云フヤウナコト  
ヲ歎キ起シテ、其ノ爲ニ配給上逆效果ヲ來  
スヤウナコトニ付キマシテハ、萬サウ云フ  
コトノナイヤウニ處置シテ參ル積リデアリ  
マス、ソレカラ民間各機構等ガ相當擾シ  
テ居ルノデハナイカト云フヤウナ御心配デ  
アリマスガ、是ハ勿論民間業者ノ一部ニ付  
キマシテハ色々ナ意見モアラウカト思ヒマ  
ス、大體本筋ノ點ニ付キマシテハ此ノ案ノ  
制定ニ當リマシテ、其ノ大綱ニ付キマシテ  
十分話モシテ居ルコトデアリマス、又民  
間全體ガ此ノ國策ニ從ジテ協力シヨウト云フ  
點ニ關シマシテハ、色々ナ御懸念ハアリマ  
スケレドモ、私共承知シテ居ル所ニ於テ、  
決シテ御懸念ノヤウナ事實ハ起シテ來マイト  
云フ見透シノ下ニヤツテ居ル譯デアリマス、  
併シ運營ニ付キマシテハ色々御意見ノ點等  
ニ付キマシテモ、十分私共モ考ヘマシテ、  
此ノ大事ナ時期ニ於テ、折角今申シマシタ  
ヤウナ必要カラ行フ此ノ制度ガ本來ノ目的

ニ苟クモ反スルガ如キ、又其ノ目的ヲ十分ニ達スルコトガ出来ナイヤウナ事態ガ起シテ來ナイヤウニ十分ニ一ツ留意シテ運営ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ思シテ居リマス  
○出光佐三君 色々御懇切ニ御話ヲ承ツテ有難ウゴザイマシタガ、非常ニ石油ガ足リナイ時デスカラ、少シノ障礙デモ益、石油ノ偏在ヲ起シタリ、配給ノ不圓滑ヲ來スヤウナコトガアルト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付テハ今大臣カラモ色々御深切ナ御話ガアリマシタガ、一層御注意ヲ願ツテ今後監督指示ヲ徹底セシムルト云フコトヲ目標トシテ、餘リ民間ノ今ノヤツテ居ル仕事ニ深ク斬リ込マナイト云フコトノ方ガ、私ハ好イ結果ヲ現シハシナイカト思フノデスガ、其ノ邊モドウカ今後運営ノ上ニ於テ十分御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、サウセスト又誤解ヲ招クコトニナリハシナイカト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス  
○男爵安場保健君 先般外ノ委員會デモ質問ガアツタデスガ、石油專賣法ニ掲グル所謂石油ト云フノヘ、揮發油、燈油、輕油、機械油、重油、石油副製品トアリマスケレドモ、是ハ鑛產品ダケヲ指スモノデセウカ、椰子油アタリカラ出來ルヤウナ重油或ハ機械油ト云フヤウナ植物性ノモノヘドウ云フ風ナ御見解ナンデセウカ、化學用原料ニ使フヤウナモノモ石油トシテ專賣法ニ依ツテ扱ハレルモノデセウカ、燃料ニ使ハレルヤウナモノダケガサウ云フ扱ヒヲ受ケルモノデセウカ

○男爵安場保健君 私ノ聞ク所ニ依ルト、  
椰子油ノ或一種ハモウ搾ッタモノ其ノ儘重  
油トシテ船舶用ニ使ハレテ居ルト云フ話デ  
スガ、サウ云フノハ内地ヘ入ツテ來夕場合  
ハドウナサルノデスカ

○政府委員(楠瀬常猪君) 潤滑油ノ如キハ  
單體デモ其ノ儘デ使用出來ルモノゴザイマ  
ス、御存ジノ通リ、之ヲ矢張リ專賣ノ對象ト  
シテ直グ取上げマスルト云フト、外ノ用途  
ト云フモノト非常ニ密接不可分ノ關係ガゴ  
ザイマスルノデ、是等ニ付キマシテハ專賣  
ノ對象ト致サヌデモ配給統制ノ方デ適宜ニ  
ヤツテ行ケルノヂヤナイカ、從ヒマシテ矢  
張リ專賣ノ對象ト相成リマスルモノハ明確  
デアルコトガ必要デゴザイマス、收納取締  
監督ノ點カラ言ヒマシテモ、サウ云フ點ヲ  
ハツキリ致シテ居ルノモ必要デゴザイマス  
ノデ、大體サウ云フ一聯ノ對象ト云フモノ  
ヲ專賣ノ對象トシテ扱フコトニ致シマシテ、  
是ハ矢張リ潤滑シテ使ハレルケレドモ、又  
別ノ方ノ用途ニ色々使ハレルト云フヤウナ  
物ニ付キマシテハ、却テソレヲ專賣ト云フ  
デ運營シテ行ツタ方ガ宜イノデヤナイカト  
シマスヨリモ、ソレヲ外シテ配給統制ト云  
フヤウナ關係カラ致シマシテ、全體ノ關係  
云フ考ヲ持ツテ居リマシテ、專賣ノ對象ト云  
フ方カラ一應外シテ扱ツタ方ガ宜イノデヤ

ナイカト思ツテ居リマス、御指摘ノサウ云  
フ品物ハ確ニゴザイマス  
○男爵安場保健君 「ゴム」カラ出來ル重  
油、ソレカラ椰子油カラ出來ル重油ト云フ  
ヤウナモノハ、要スルニ燃料ニ使ハレルト  
云フコトガ目標デ、此ノ專賣ノ對象ニナル  
ノデヤナイカトモ思ヒマスガ、ソレトモ鑛  
物油ト一緒ニナツタ場合ト云フ意味ニ解釋  
シタ方ガ宜インデスカ、ドッヂガ宜イノデセ  
ウカ

○政府委員(楠瀬常猪君) 其ノ植物油脂等  
ニ付キマシテモ、ソレ自體デ使ハレマスモ  
ノハ、詰リ專賣ノ對象トシテ取扱ハナイト云  
フダケデゴザイマシテ、例ヘバ低溫「ターネ  
ル」ト云ツタヤウナモノモゴザイマス、是モ  
矢張リ專賣ノ對象トシテ取扱ヒタイト、斯  
ウ云フ風ニ思<sup>テ</sup>居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 商工大臣ガ見  
エテ居リマスガ、何カ商工大臣ニ對スル  
御質問ガゴザイマスレバ、此ノ際願ヒタ  
イト思ヒマス、商工大臣ハ衆議院ノ方ノ  
委員會ニモ出席サレル必要ガアリマスノ  
デ、商工大臣ハモウ必要ガアリマセヌカ、  
ソレデハ商工大臣モウ宜シウゴザイマス、  
ソレカラ大東亞省ノ大臣次官ハ手ガ放セマ  
セヌノデ、大東亞省ノ主任ノ政府委員ガ  
參<sup>ツ</sup>テ居リマスノデ、ドウゾソレデ宜ケレ  
バ、御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○秋田三一君 先般來伺<sup>ツ</sup>テ居リマス中ニ、  
支那ニ於テ非常ニ物價ガ昂騰シテ居ルト云  
フコトニ付テ、更ニ驚イタ次第デアリマス  
ガ、舊法幣ト儲備券ノ流通ノ現在ノ狀況ハ  
ドウナツテ居リマスカ、又此ノ物價トノ關係  
ヲ簡單デ宜シウゴザイマスガ、御話シ願ヒ  
タイト思ヒマス

○政府委員(宇佐美珍彦君) 御答へ申上  
マス、舊法幣と儲備券ノ關係ト申シマスル  
カ、之ニ付キマンテハ御承知ノ如ク北支ニ  
於テハ、今日舊法幣ト云フモノハ全然流通致  
シテ居リマセヌ、疾クニ聯銀券ニ統一サレ  
テ居ルノデアリマスルガ、中支ニ於キマシ  
テハ最近迄舊法幣ガ一般ニ流通サレテ居リ  
マシタノヲ、昨年國民政府ニ於キマシテ儲  
備券ニ變ヘルト云フ措置ヲ取りマシタ、其  
ノ間色々骨ノ折レル工作ヲ實施致シマシ  
タ結果、今日ニ於キマシテハ所謂和平地區  
ニ於キマシテ舊法幣ハ大體完全ニ驅逐サレ  
マシテ、儲備券一色ニナツテ居ルト云フコ  
トヲ申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、ソ  
レデ最近ニ於キマシテハ國民政府ニ於キマシ  
テ、完全ニ此ノ舊法幣ノ所持ヲモ禁止スル、  
流通ノ禁止ハ既ニ相當前ニ昨年ノ中ニ行ツ  
テ居ツタノデアリマスガ、マダ此ノ所持ノ禁  
止迄ハ行ツテ居ラナカツタノデアリマス、最  
近ニ於キマシテハ舊法幣ノ所持ヲモ禁止ス  
ルト云フ所迄參ツテ居ルノデゴザイマス、斯  
様ナ次第デ中支ニ於キマシテモ今日國民政  
府ノ治下ニ於キマンテハ、儲備券一色ニ相  
成ツテ居ルト云フ次第ゴザイマス、固ヨリ  
我方ノ軍票ハ或程度流通シテ居ルコトハ  
御承知ノ通リデアリマスガ、左様ナ狀況デ  
ゴザイマス、サウシテ物價ノ關係デゴザイ  
マスガ、一昨年以來ノ舊法幣ノ急激ナ下落、  
ソレニ伴ツテ儲備券ノ價值モ下ッテ參リマシ  
タ、ソレト一方ニ於キマシテハ何ト申シマ  
シテモ、此ノ現時局下ノ當然ノ結果ト致シマ  
シテ物資ガ十分デナイト云フ結果モアリマ  
シテ、物價ハ相當騰貴致シテ居ルコトヘ事  
實デゴザイマス、從ツテ今日支那ニ於キマス  
ル物價問題ト云フモノハ極メテ重要ナ問

題ニ相成シテ居リマシテ、支那當局ニ於キマシテモ、亦日本側ニ於キマシテモ、此ノ問題ノ處理ノ爲ニハ十分ノ努力ヲ致シテ居ル。次第デゴザイマス、唯支那ノ狀況ハ日本ナドトハ餘程趣ガ違ヒマスノデ、ナカノ思フ如キ效果ヲ擧ゲル所迄ハ參ッテ居ラナイノデアリマスガ、併シナガラ一方ニ於キマシテハ物價ノ統制ヲ致シ、又他方ニ於キマシテハ集荷ノ増加、又出來ルダケ生産ノ増加ヲ圖ルト云フコトモ致シ、他方又通貨ノ面カラ致シマシテ遊資ノ吸收ト云フヤウナコト、又サウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ色々ナ工作ヲ兼ね行ヒマシテ、出來ルダケ物價ノ安定ヲ圖ルヤウニ努力致シテ居ルト云フ次第デゴザイマス。

○秋田三一君 只今御話ニナリマシタ遊資ノ吸收ノ方法ハ、ドウ云フ方法ガ今行ハレテ居リマス。

○政府委員(宇佐美珍彦君) 御答へ致シマス、是ハ日本側、支那側トアルノデゴザイマスガ、日本側ノ方ニ於キマシテハ公債ノ公募ト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居ルノリマス、支那ニ於キマシテ、我ガ日本在留民ノ間ニ於キマシテハ、相當多額ノ公債ニ應募シテ居ルト云フ状況デゴザイマス、又支那側ニ於キマシテハ、實ハマダソレ等ノ點ニ付キマシテ的確な方法ハ實行サレル迄行ツテ居ラヌト思ヒマスルガ、併シ一方ニ於キマシテ銀行ノ貸出ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、相當投機ヲ抑制スルヤウナ趣旨ヲ以テ統制サレテ居ルト云フ實情デアリマス、又其ノ他色々ナ方法ヲ今日支那側ニ於テモ考ヘテ居ルヤウデゴザイマス、マダ具体的ノ方法ニ付テ申上ゲル所迄ハ行ツテ居ラヌノデゴザイマス。

○秋田三一君 支那側デハ銀行ニ貯金スルト云フヤウナコトガ相當行ハレテ居リマセウカ、現在ノ銀行ノ預金ト云フヤウナモノガ、資金吸收ノ方法トシテ多少役立ッテ居リマセウカ。

○政府委員(宇佐美珍彦君) 銀行ノ預金ガ成ルベク増加スルコトガ結局遊資ノ吸收ニナル譯デアリマシテ、他方又ソレガ拂出サレマシテ投機ノ用ニ用ヒラレルト云フヤウナコトガアリマスルト、物價ノ面面カラ申シマシテ面白クナイ結果ヲ來スノデアリマス、從ツテ御話ノ如ク預金ノ吸收ト云フコトニ付キマシテモ、出來ルダケ努メテ居ルヤウナ状況ノヤウデゴザイマス、金利等ノ問題モアリマシテ、ナカノムカシイ問題ノヤウデゴザイマスガ、サウ云フ方面ニモ努力スル必要ガアルト云フコトモ考ヘテ居ル次第デゴザイマス。

○秋田三一君 中支方面ニ於ケル物資ノ買付ハ儲備券ダケデ行ハレテ居リマスカ、モウ舊法幣ハ全然使ハナイデ済シテ居リマス。

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記始メ〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記始メ

○秋田三一君 交易營團ニナリマシテ、價格ト云フモノハ、是ハ現地ノ一般物價政策ト極メテ密接ナ關聯ガアリマスノデ大東亞省ト致シマシテハ極メテ重視シテ居ル次第デアリマス、テ徒ニ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ止メテ〔速記中止〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 速記ヲ始メテ

○秋田三一君 (滿洲、北支、中支等ニ於テ我が國ノ戰力增强ニ必要ナル物資、例ヘバ鐵トカ、石炭等ノ開發増產ニ必要ナル資材ト致シマシテ、我ガ國カラドウシテモ求メナケレバナラナイ物ガアルノデアリマス、例ヘバ先刻申上ダマシタヤウナ北支方面ニ於ケル炭礦ノ杭木ノ如キハ、ドウシテモ我ガ國カラ求メナケレバナラナイノデアリマスガ、我ガ内地ニ於キマシテモ斯ウ云フ物資ノハ此ノ專賣ノ中カラ御除キニナルノデアリマスカ、植物油ハ先ノ御返答デハ除クヤウナ御話デアリマスガ……

○政府委員(浦瀬常猪君) 今御擧ゲニナリマシタヤウナ「ゴム」ニ水添致シマス場合ニハ炭化水素デアリマスカラ、是ハ入ルコトニナツテ居リマス。

○男爵安場保健君 サウスルト椰子油カラ搾ツタモノハ入ルノデアリマスカ、單體デアレバ對象ニナラナイノデアリマスカ、ソレトモ用途ニ依ツテ區別ガナサレルカ、何カソコノ所ガ有耶無耶デ分ラナイノデアリマスガ……

○政府委員(浦瀬常猪君) 化學成分ガ石油ニアナツテ居ルモノガ對象ニナルト云フ譯デアリマス、今ノ「ゴム」ノヤウナ場合ニモ、

